



## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する  
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

委員

池田義祐 石田祐一 柿崎祐一 梶山雄一 木曾好能 清水善三 武内義範 辻村公一 中村久 野田又夫 服部正明 藤澤令夫 武藤一雄 本吉良治 森口美都 山田晶 湯淺幸孫 吉岡健二

会  
告

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月三日(土)午後一時半

会場 京都大学文学部第七講義室

一、真と真如……………京都大学教授 福永光司

一、哲学の歴史について……………京都大学教授 野田又夫

※ 右終了後楽友会館にて懇談晚餐会を開きます(会費 約千円)。

※ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京大文学部社会学研究室までお申出下さい。

昭和四十八年九月

京  
都  
哲  
学  
会

(筆者 大阪芸術大学教養部講師)

メルロー＝ポンティは少くとも彼の現象学と既存の諸科学とを、アルキエ流に言えば人間の科学と人間に奉仕する科学とを十分な仕方で調整しなければならなかった筈である。しかし当初には彼の念頭を離れなかったと思われるこの問題は未解決のままに残され、『知覚の現象学』以後のメルロー＝ポンティは結局『*L'œil et l'esprit*, 1964』や『*Le visible et l'invisible*, 1963』等に見られる神秘主義的な方向に向うことになる。

『知覚の現象学』第一部については、竹内芳郎、小木貞孝両氏の邦訳に大変お世話になりました。

(了)

次号論文予告

機能分析の方法……………中	久郎
——デュルケーム理論の問題——	
宗教的死と愛(三)……………石井誠士	
——キェルケゴールを通して——	
デカルトにおける「直観」……………山田弘明	

前号目次

在りて在る者……………山田晶	
——アウグティヌスの	
Exod. 3, 15 解釋——	
宗教的死と愛(二)……………石井誠士	
——キェルケゴールを通して——	
他我の存在について……………山形頼洋	
因果の必然性……………野田修	
——ヒュームの因果論——	

## 會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓又は半年一、八〇〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京九二四七二番）宛に願います

一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい（一年分又は半年分）、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送付済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に清算します

一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

## 京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和四十八年九月二十五日印刷  
昭和四十八年九月三十日發行

編輯兼 京都哲學會  
發行人 京都大學文學部内

編輯代表  
木 會 好 能

賣捌所 株式會社 創 文 社

久保井理津男

東京都千代田區一番町一七番地  
振替口座東京九二四七二  
電話東京二六三七一〇（代表）

印刷所 中 光 印 刷 所

東京都豊島區高田一―二―一四

## 註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價三五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES  
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLV

September 1973

No. 8

*Japanese Style in Hōō Dō Amida Buddha*.....Zenzo Shimizu

*Necessity and Counterfactual Conditionals* .....Hideo Yabuki

*Gedanken über Hegel in der Jena-Zeit*

— *Apokalypse der Neuzeit: "die absolute  
Freiheit und der Schrecken"* — ...Michio Yamamoto

*La théorie du corps chez Merleau-Ponty*

— *Sur le corps propre* — .....Yoshihiro Fuse

Published Monthly

by

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto Japan

定  
價  
三  
五  
〇  
圓